

アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和3年8月19日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

1 調査結果の概要

- ・栄養の蓄積状態を示す貝柱のグリコーゲン含量が、各漁場で健康度の指標となる3.0%を大きく下回る値となっている。
- ・貝殻真珠層の褐変個体の出現率は低下した。
- ・貝柱の赤変個体は、引き続き確認されなかった。
- ・水温は、急潮の流入により一時的に28℃以上まで上昇したが、現在は平年並みに推移している。

産卵による体力低下と栄養の蓄積状態の悪化から、海況の変化が貝の状態に大きく影響する可能性がありますので、貝の管理には引き続き御注意ください。

2 調査結果一覧

| 漁場*1 | 貝の種類 (R2産) | グリコーゲン含量 平均値 (%) | a 値 平均値 | 赤変個体 (個) | 褐変個体 出現率 |
|------|---------------|---------------------|------------|-------------|-------------|
| 北部 | 日中交雑貝*2 | 1.0(6.4) | 1.5(-1.4) | 0 | 0% |
| 中部① | 日中交雑貝 | 0.6(3.6) | 1.6(-0.8) | 0 | 0% |
| 中部② | 日中交雑貝 | 0.9(2.7) | 0.9(0.9) | 0 | 5% |
| 南部 | 日本貝 | 0.7(1.1) | 0.1(0.6) | 0 | 5% |
| 南部 | 日中交雑貝 | 0.8(3.2) | 0.1(0.0) | 0 | 5% |
| 平均値 | | 0.8(3.4) | 0.8(0.0) | | |

*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

() 内は昨年同月の値

3 調査方法

- ・4月から11月まで月1回(概ね第3週)、各漁場・種類毎に20個を調査。
- ・愛媛県漁業協同組合宇和島事業部が、調査日2日前を目処に上記漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝(2年貝)をサンプルとした。

4 調査項目および判断指標

- ・グリコーゲン含量(%): アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- ・a 値: 閉殻筋(貝柱)の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。
赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。